

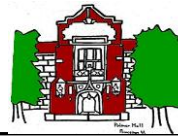
# なかま

プリンストン日本語学校(補習校部)

平成24年度 No.02号

平成24年 4月15日

文責 長尾重範



## 新しい出発ができました！

はな冷えの もどりとわれに 祝杯す  
あくびする りすのせなかを はなふぶき

素晴らしくよく晴れて穏やかな日に入学式と入園式を行うことができました。小学1年生も式のあいだ中、きちんと姿勢を正していたのがとても印象的でした。落ち着いた家庭のふんいきが伝わってくるようで感心しました。良い出発になりました。

新しい教科書のま新しい匂いを味わいながら、これからも日本語を楽しんでほしいなあと、私は願っています。

新しい友だちも増えました。皆さん一人ひとり、それぞれお父さんお母さんの期待を感じながら、友だちと楽しく仲よくがんばり、どんなことにもへこたれず、休まずに日曜日の日本語学校に来てください。

## 漢字検定試験

6月17日に第1回の漢字検定試験が行われます。  
今日配布の申込書の締め切りは4月29日です。  
大いにこの機会を活用して、漢字学習に取り組みましょう。

### 「漢字検定試験に取り組んで」

私は48歳のときに、人に勧めるならまず自分で受けてみようと思って、参考書を買って一通り予習をして2級試験に臨みました。「目から鱗(うろこ)」と言いますが、自分が長いあいだ間違っていたことに気づくことがいくつもあって、受験して良かったと後で思いました。そのことだけでなく、漢字を書くことに自信ができて、今まで以上に漢字にこだわって大事に使うようになりました。

長い間活字に親しんできたので、読み、対義語・類義語、おくりがな、四字熟語、誤字訂正、漢字の書き取りなどはほぼできるのに、部首には苦戦しました。しかし、検定試験を受けることをきっかけに、上や下、万、三などがどの部首であるとか、春や、央、太がどの部首に属するかなどを改めて知るなど、新鮮な感覚で学ぶことができました。

お母(父)さんが漢字に挑戦すると、子どもたちはその姿を見て、触発されることは間違いありません。お母(父)さんの心意気が子どもに伝播し、楽しんで勉強しているお母(父)さんをまねて勉強しようとするのが、一番自然な学びの姿だと思います。

## 行事予定表

4月22日	教育課程等説明会
4月29日	運動会係の打合せ会、写真撮影
5月6日	授業参観、懇談会
5月13日	授業参観、懇談会
5月20日	運動会予行練習
6月3日	運動会

## 教育課程等説明会の案内

**4月22日(日) 304教室、15時30分から。**  
平成24年度の教育課程説明会を行ないます。本年度は特に中学校の教科書が全面改定されています。多くの方々の参加をお待ちしています。

## 「家風」(その家に特有な生活の慣わし)

日本では、子どもたちが「友だちみんなが持っているから、私にも買って」と言うので、親は折れてしまい買ってしまおうと、聞かされることが多い。そういうものかなと思う反面、その対応に少し不満もある。というのも、それぞれの親の考え方は同じではないだろうし、友だちに合わせないとわが子がかわいそうだと考えることにはいかにほどの意味があるのかとも思う。それぞれの家にはそれぞれの家風がある。それは、時代とともにいくらかゆらぎがあっても、親から子へ伝播していくものだろう。家風は自分の自尊心と深く結びついているので、家風を大切にしている人は自尊心も高いと見るべきだろう。自分は大事な人間であり必要とされていると考え、自ずと自分を向上させようとする心が強くなるだろう。家風は受け継ぐものであり、自分が新たに創造していけるものでもある。良い家風を自分の代で、さらに良いものにするために、精進するのは悪いことではないだろう。私たちが築いた家風がわが子にとって望ましく良いものとして受け止められるように、努力したいと思う。

## 原稿募集

身近な人の**体験的な作文**を読むことは興味深く、子どもたちの日本語への興味関心を高めることにも役立つと思います。学校新聞の読者の皆さんの投稿をお願いします。400~800字で媒体は問いませんので原稿をお寄せください。掲載は名前入りを基本としています。俳句等も可です。